

## インタビューテーマ

### 3 まちをよくするために行政に期待すること

#### ①若手経済団体及び若手経営者

- ・道路の整備、三沿岸道への県病付近からの出入口を整備してほしい。山を削って、平らな土地を整備してほしい。
- ・子どもを持つ親として、郷土芸能（地ノ森権現など）、産業まつりへの参加をもっと呼びかけてほしい。
- ・ゆめアリーナ（陸前高田市）を利用するなど気仙地域での広域連携を深めてほしい。
- ・高校の統合について、実業高の必要性はある。実業学科と普通科を確保維持してほしい。サンリア・盛商店街の賑わいを。
- ・さんご島の活用をしてほしい。高価格サービスを富裕層対象に提供を。
- ・子どもたちが仕事の職種を知らないようなので、子供向けの職業体験施設の提供を。
- ・地域活動の機会、統合によって減らす学校活動を選択制でもよいので、機会を設けてほしい。
- ・本機会のような、女性経営者等の集う発言の機会を増やしてほしい。
- ・風力発電施設を建設してほしい。波及効果で飲食店が潤う。漁業、飲食店のアルバイトがいないので多くの学生を確保するためにも、北里大学の復活をお願いしたい。
- ・民泊活動推進団体への補助、行政支援をお願いしたい。

#### ②農林水産業者

- ・防災力の強化を望む。防災行政無線は、先日の津波警報発表の際にも聞こえづらいところがあった。越喜来漁港内では聞こえない。放送後も知らずに水門内に残された人もいた。家の中にいれば戸別受信機はあるが、外では非常に聞こえづらく、強化していただきたい。
- ・イベントを増やしてほしい。産業まつりなどはあるが、市民体育館でやっていた以前より規模が小さくなつたと思う。もっと大きめに、業者も多く。
- ・若い人たちが魅力を感じるのは体験ツアーようなイベント、農業体験、漁業体験では。それらを1泊2日で行うようなものがあれば、市内の宿泊業者などにもいいと思う。
- ・大船渡市は輸出が少ない。港を有効活用してほしい。
- ・農林水産業はじめ、各業界で「こういう困りごとがある」という声があれば、市でそれにレスポンスを返して反映してほしい。子育て世代、若い人への支援、「大船渡に住んでいることによる大変さ」を感じないようなサポートを望む。
- ・今回の「市長と語る座談会」、距離が近いのは大変いいことと思う。ここで出た意見や要望に對して「こうしました」という結果を返して、発信してほしい。
- ・子どもが吹奏楽部で活動しており、産業まつりや客船イベントにも参加しているが、楽器が非常に古く劣化しており、昭和のものもあり、修理しながら使つてている状況。何か配慮いただければ。
- ・人口を増やす対策を望む。そのために交通アクセス、子育て環境、病院なども、安心して暮らせるまちづくりを。自然豊かなまちのPRを積極的にお願いしたい。
- ・鳥獣害対策を望む。イノシシも出てきており、鹿よりも悪質で繁殖力も高い。対策できないと農業の継続も難しくなると思う。
- ・令和10年度から部活動が地域移行となるが、現状でも中学校の部活の存続が大変なところ、なくなつてしまつと再度立ち上げるのは困難。スポーツ協会や各協会で集まって全体で話し合いをするなどが必要なのでは。
- ・林業の担い手確保のための取組。林業にもアカデミーがあり、自分でお金を出して学び研修するが、その参加者が増えてほしい。行政との連携で、地域の山を守り、水産や農業と連携できる場を市に後押ししてほしい。
- ・元市職員として。市の職員が元気でなければ各種施策も進まないと思う。懇親の場をもつてコミュニケーションを盛んにして、がんばってほしい。